

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	アビスパ福岡株式会社
所在地	福岡市東区香椎浜ふ頭 1 丁目 2-17
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	サービス業
電話番号	092-674-3020
ホームページ	https://www.avispa.co.jp/

Well-being 向上 に向けた取組み	スポーツを通じて豊かな地域社会づくり、地域の人々と共に発展し新たなコミュニティづくりに関わっていくことで従業員の充実感をもたらす取組を実施しています。具体的には地域イベントへの参加、プロサッカー興行時に「応援デー」と称し自治体の町おこしに協力しています。また、福岡市と連携した介護予防事業や訪問サッカー教室、ブラインドサッカー体験会など、年齢性別関わらず様々な地域コミュニティとの連携を行っています。		
アンケート実施	○	アンケートの 社内共有	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名: アビスパ福岡株式会社

カテゴリー	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																		
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。	○	○		・ブラインドサッカーチーム「ラッキーストライカーズ福岡」の支援/体験会を通じ障がい理解と共生社会を推進 ・少年院在院者へのスタジアム芝保全活動参加、福祉施設との連携による就労機会創出で、社会的包摂を推進						○		○	○										
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○		・服装規定の改定や業務限定社員制度(時間・職務限定)の導入により、個人の状況に応じた柔軟な働き方 ・天神にコワーキングスペースを設置し、営業社員が中心地での勤務を選択できる環境を整備						○		○	○										
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○		・ハラスメント相談窓口およびコンプライアンス委員会を設置し、人権侵害の防止・早期対応体制を整備 ・全従業員を対象にハラスメント研修を定期実施し、人権意識の向上に取り組む						○		○	○							○			
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○		・長時間労働の是正に継続的に取り組み、従業員のワークライフバランスを確保 ・毎月のパルスサーベイを実施し、心身の健康状態を把握・社長への報告を通じたメンタルケア体制を整備				○		○		○											
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○		・子供から学生までを対象とした「サステナビリティ教育」を行っている ・複数の大学と連携した産学連携プロジェクトとして学生が企画・提案する学外教育を行っている				○	○			○	○										
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・従業員へマイバッグ・マイボトルの利用を推奨している ・アップサイクルプロジェクト「Avicycle」としてこれまで廃棄予定だったトレーニングウェアなどを回収しオリジナルグッズとして生まれ変わらせる活動を行っている				○		○				○	○		○						
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・電気自動車の導入を進めており、自転車での通勤も推奨している ・クール/ウォームビズにおける冷暖房の使用抑制							○					○	○						
	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・ファン・サポーター、スポンサー、従業員へのサステナビリティ教育を行っている ・毎ホームゲーム前に清掃活動を実施しており、地域の清掃活動に進んで参加している								○					○	○	○	○			
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・社内での節水啓発活動を通じ、従業員の水の有効利用意識を促進 ・スタジアムの一部に再生水を活用し、水資源の有効利用を実践								○											
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○		○	・外部の専門業者と連携した安全管理体制を構築し、安心・安全なスタジアム運営を実現				○								○							
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・社会課題解決のプロジェクト「FUKUOKA TAKE ACTION！」を発足し、持続可能なシステムを構築 ・独自の教育プログラムやワークショップを提供し、地域の学生や子供たちのキャリア教育に貢献している	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。			○	・グループ会社全体の仕組みと連携し、個人情報の適切な管理を徹底																	○		
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。			○	・Jリーグのオンライン研修を活用しながら、法令順守の意識を全従業員へ浸透させる取り組みを推進																	○		
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・経営理念を明文化している ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念や経営目標や従業員へ共有している										○	○							○	
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・グループ会社全体と連携し、事業継続・事業承継に向けた検討と対策を推進												○	○	○				○	